

平成27年度第2回 IR実務担当者連絡会アンケート結果

アンケートは、参加者26名のうち、スタッフ9名を除いた17人中17人から回答があった。連絡会の満足度は図1に示す通り、四分の三弱が「満足」と回答した。実際の実務的な発表内容が多く、参加者が現在取り組んでいる業務の先行事例や、すぐに実践したいと思うような取組事例の紹介があった場合に、満足度が高くなる傾向があるようである。一方で今回も、各発表時間がやや短かったという意見があった。全体で5件の発表からなるプログラムで開催したが、件数を絞って1件の発表時間を長くすることも検討したい。係機関

(藤井 [名古屋大])

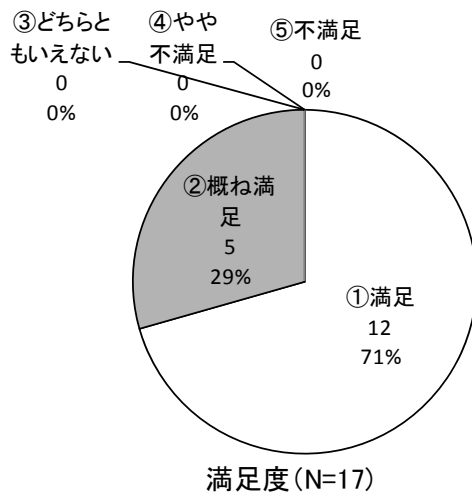


図1：満足度

アンケート結果の詳細

ID	属性	得たこと	満足度	理由	意見・感想
1	私	山形大学の規定の考え方については、本学でも現在課題ですので勉強になりました。	②概ね満足	発表は難しさのばらつきがありましたが、自学のIRを進める上で参考になりました。	
2	国	IRにかかわる規程の整備、データカタログ作成、研究評価の補性(研究IRの重要性)	②概ね満足	これまでの実務の反省と新しいきづきがあったため	ありがとうございました 引きつづきよろしく願い致します
3	国	多様なIR活動が知れました。又、留年・退学の具体的な検討内容について知れました。	②概ね満足	時間を長くしていただければ有難いです。分析の視点について、意見を述べる機会があると良いと感じました。(皆の意見が知りたいです。)	情報交換会も併せて開催いただくと大変助かります。
4	無記入		②概ね満足	先行大学の取組を伺い参考になります。大学によってIRのミッションが異なるようですが、本学総合IR室のミッション(方向性?)を再確認しつつ、参考とさせていただきます。	
5	国	本学のIRとしてできそうな事例を再確認できました。	②概ね満足		スタッフの方々のご尽力に感謝申し上げます。
6	国	実際の事例を教えていただき、非常に参考になった	①満足	すべての発表が参考になった。ヒントをつかむことができたと思う	また、ぜひ参加できたい
7	関	IRを推進するに当たり、学内のデータを集約すること、それをできるような規定を定めること、更にはデータの定義を統一することの重要性を学んだ。	①満足	他のIRセミナーでは聞くことのできない、ふみこんだ内容について聞くことができた。	
8	公	データカタログ作成と留年・退学する学生と成績の関係に関する分析の実例紹介がとて参考になりました。	①満足	自分にとってアクチュアルな問題を取り扱っていただいた為	
9	私	現在IRについて情報収集に努めており、今後のIRを推進させていきたい	①満足	もう少し詳しく話を聞きたい点があった	発表された大学の取り組みについて参考になった
10	国	現在実施している事に対し、色々と意見を貰う事ができ、有益であった。	①満足	上述の通りです。	発表できる内容に関しまとまったものができたら、また発表させていただきます。

ID	属性	得たこと	満足度	理由	意見・感想
11	国	現在データカタログの作成を検討中であるが、なかなか参考にできるような具体例が見つからなかったため、非常に参考になった。	①満足	1に記載のとおり。実務的にも大変参考になった。	大変勉強になりました。ありがとうございました。
12	私	・寫田先生の発表された内容は、本学でも同様の分析を行ってみたいと感じました。 ・データカタログの必要性を感じました。	①満足		
13	企	・データの分析の方向性 ・学内データの活用と学内説得の方法等、各大学のIR進捗について	①満足	5つの大学の具体的な事例を知ることができたこと。 特に規模や構成する学科が異なる大学の話がきけたことが参考になった。	
14	関	実際にデータ分析等を行っている方々にとっての課題が具体的にどのようなものがあるかについて、事例を通して良く認識できた。	①満足	実務レベルで各々の方々の考えが聞ける場で(オフレコを含めて)非常にありがたかった。	今後も可能であれば参加させていただきたいと思います。
15	国	既に取組を行っておられる大学が、どのようにしてそれを行ったのか、等についての情報を得ることができました。	①満足	本学では今年度IRに関する業務を開始しましたので、1で記入したことが得られたことに満足しています。	
16	国	久方ぶりの参加でしたが、“This is 実務家集会”という雰囲気で大変勉強になりました。	①満足	同上です。	コンテンツがリッチすぎる感もあります。そういう会もお作りだとは存じますが、半分ぐらいの報告数に対し、根ほり葉ほり聞ける、あるいは実際のシステムを見せていただくなどできる会の運営だと存じますので、引き続き深掘りを期待申し上げます。
17	国	各大学の取り組みや調査が分かって大変良かった。	①満足	特に寫田先生のお話が自分にとってはとても勉強になったので。	また機会があれば参加したい。ありがとうございました。

属性 国：国立大学 公：公立大学 私：私立大学 関：関係機関